

平成 29 年度 生駒市行政改革推進委員会

第 5 回 会議録

開催日時 平成 29 年 10 月 25 日（水） 午前 9 時 00 分～午前 11 時 30 分

開催場所 生駒市役所 4 階 401 会議室

出席者

（委員） 森委員長、松岡副委員長、藤堂委員、南部委員、井上委員、上坂委員

（事務局） 大西総務部長、飯島総務課課長補佐、渡辺総務課行政経営係長、
坂東総務課係員、島田総務課係員

（傍聴者） なし

欠席者 なし

1 開会

2 案件

(1) 後期行動計画取組状況評価報告書について

（委員長） 本日は、報告書案の内容を確認していく。

1 後期行動計画の取組状況評価について

（委員長） 何か意見はあるか。3～4 行目について、「…継続した行政改革が進められている。」とあるが、この表現では過去のことを記載しているように捉えられてしまうので、「進められてきた」に修正してはどうか。

（副委員長） 「2 (1) 評価結果の総括」とも関連するかもしれないが、2 段落目に重点項目と推進項目に区分していると書いているが、それぞれの項目についての説明を記載した方が、後の総括を読む上で分かりやすいのではないか。

（委員長） 全体的な印象として、かなりさらっとしていて、余り記憶に残らない。

（委員） 重点項目と推進項目があることに今気が付いた。

（委員長） せっかく市民の方々にも参加いただいて評価してもらっているので、市民による評価という特色がもっと出ても良いと思っている。先程の指摘について、2 段落目を「…に沿っている。全 21 項目ある取組項目を〇〇である「重点項目」と〇〇である「推進項目」に区分している。」とし、それぞれの項目に対する説明を追加してほしい。

（副委員長） しかし、推進項目についての説明は書かれていない。

（事務局） 後期行動計画には、重点項目以外を推進項目とするしか定義していない。「全 21 項目ある取組項目を、重点的かつ優先的に取り組むべき項目である「重点項目」とそれ以外の項目である「推進項目」に区分している。」と修正して良いか。

（委員長） はい。きちんと説明した方が良い。

2 平成28年度取組状況評価結果 総括

- (委員長) 何か意見はあるか。() が何を示しているのかが分かりにくい。
- (委員) ※の () が分かりにくいので、(と) の間を少し離してほしい。
- (副委員長) 「しかし、重点的かつ…」について、「しかし、重点的かつ…重点項目で、14項目のうち3項目でD評価となった。」と書いた方が分かりやすい。3項目という数字が多いのか少ないのかが分からないので、14項目のうち3項目であるということを明確にした方がよい。①と③の説明にも繋がると思う。
- (委員長) 取組項目に対する記述と重点項目に対する記述が混在しているので、そのように修正した方が分かりやすい。
- (事務局) 推進項目と重点項目の表を分けて掲載した方が分かりやすいか。
- (委員) 表を一行増やして、重点項目と推進項目に分けてはどうか。
- (委員) 重点項目の中にD評価が3件あったことが問題なのか、4件のD評価のうち3件も重点項目だったことが問題なのか。
- (委員長) D評価とした取組について、それほど白熱した議論になった項目でもなかったと思うので、目くじら立ててD評価が3項目あったと書くほどでもないように思う。
- (副委員長) そうすると、①と③もD評価があったことを強調しているように思える。
- (委員) 「…3項目あった。」で文章が終わってしまっているのもう少し説明を加えてはどうか。
- (委員長) 意見をまとめると、表を重点項目と推進項目に分けて記載する。「しかし、…」の文章を「D評価となったものが3項目あった。それについては、今後適切に対応すべきである。」といった文章に修正する。
- (委員) 前年度との比較が書かれているので、前年度の評価結果が書かれていないと分かりにくい。
- (委員) これまでの評価結果の推移を載せてはどうか。
- (事務局) それは可能。
- (委員) 企業の株主総会でも過去3年ぐらいの評価が書かれている。それがあると読む方も分かりやすい。
- (副委員長) きれいに毎年評価が上がっていなくても上昇傾向となっていれば、委員会の指摘が良い刺激になっているということになると思う。
- (委員長) 今年度の評価結果の表の下に、参考として過年度との比較の折れ線グラフをいれる。そして、その下に「市民の目線という良い緊張感があり、これが上昇傾向に良い影響を与えている。」といった内容を記載する。
- (委員) 数値目標を掲げている項目について、目標を達成している項目で評価が低いと市民は不審に思わないだろうか。主観で評価しすぎているように思う。
- (委員長) 委員会で議論し、客観性を保っているのかこのままで良いのでは？
- (委員) 通常目標を達成していればB評価なのでは？そのなかでも特に優れている項目がA評価になる。
- (委員) 数値目標を達成しているのにC評価やD評価になっている項目はないのでは？

- (委員長) 不自然に評価した項目はなかったと思う。それぞれの委員が持っている知識に偏りがあるので、それを委員会で持ち寄って議論し、妥当な評価を探り合った。無理に評価を決めたという項目はなかったと思う。
- (委員) 全ての項目で数値目標を掲げている訳ではないので正確に記載できるのか。私達は市民の代表として議論をしているので、市民の目を気にして報告書の内容を修正する必要はないのではないか。
- (委員) 私自身、最初はE評価ばかりにしていたが、事務局の説明を聞いて評価があがっていた部分がある。委員会の意見としてはまとまっていると思う。
- (委員長) 市民は議論のプロセスが分からないので、どう捉えられるか不安に感じるのは理解できる。
- (委員) 総合評価は、数値以外の取組内容についても加味した上で評価している。委員会で議論した上での評価なので、客観性は保たれているのではないかと。
- (委員長) 数値目標を達成しているのにD評価としている項目があればその不安も分かるが、そういった項目はなかった。株価等のように数値だけで評価できるものではない。この点については修正せずこのままとする。
- (事務局) ①～③については過去の推移は不要か。
- (委員長) 不要である。

I 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進

1 情報提供・情報共有の充実

(1) 行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有

- (副委員長) 「広報紙はインターネットを見なくてもよいくらいに…」と書いているが、ちょっと言い過ぎではないか。「広報紙はインターネットと同様に内容が充実している。」としてはどうか。
- (委員) 紙媒体もインターネットもそれぞれの良さがある。
- (委員) インターネットについては記載しなくて良いのでは？
- (委員長) 「広報紙は非常に内容が充実している。」と修正する。

(2) 情報共有の充実に向けたツールの活用

- (各委員) 意見なし

(3) 市民自治協議会の設立拡大と運営支援

- (副委員長) 「…関与すべき。」と強めに言うので良いのか。また、「すべき。」と言い切るのか「すべきである。」とするか。
- (委員長) 語尾はすべて「～である。」に修正する。ニュアンスはこれで良いか。
- (副委員長) 市民からの要望なので強く言っても良いとは思いますが。
- (委員長) 行政側の意見としては、市民自治協議会は市民の自治組織であるという意識が強かった。
- (委員) “関与”という言い方だと市民の自主性を制限してしまうように捉えられるので、“支

援”という文言を使用してはどうか。

(委員長) 「…設立に行政は積極的に支援すべきである。」と修正する。

2 自治基本条例による協働の取組の推進

(4) 市民、NPO など協働のパートナーへの支援

(副委員長) 1点目について、「…また、長期間の継続登録は、…」とあるが、長期間の登録が問題なのではなく、きちんとチェックされていないことが問題なのだと思う。

(委員) 確かにその議論はあった。

(委員) この支援があることが前提となり、努力しなくなるのが問題だという話はあった。

(委員長) 「…また、制度を前提とした長期間の継続登録は…」とする。2点目の「…検討すべきでは。」は「検討すべきである。」に修正する。

(5) 市民政策提案制度の効果的な運用

(各委員) 意見なし

(委員長) 「…必要。」を「…必要である。」に修正する。

II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供

1 事務事業の継続的な見直し

(6) 総合計画に基づく施策・事業の進行管理

(委員) 取組内容が総合計画の策定と進行管理なので、「総合計画の策定及び進行管理において…」にしてはどうか。

(委員長) そのように修正する。

2 民間活用の推進

(7) 民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用

(委員) 「…目指している。」を「…目指している点は評価できる。」としてはどうか。

(委員長) そのように修正する。

(8) 指定管理者制度の効果的運用

(委員長) 2点目の文章が分かりにくいので、「指定管理者制度の運用において、発生した問題に対しても適切に対応している。」としてはどうか。

3 行政資源の有効活用・効率的な管理運営

(9) 既存公共施設等の活用と長寿命化に向けた中長期的な計画策定

(副委員長) 数値目標の実績値の最後に)がない。

(委員長) 2点目の文章が長いので、「…目標値を大きく上回ったが、それを…」とする。

(10) 広域連携を活用した事業等による市民サービスの向上

(各委員) 意見なし

4 環境に配慮した施策・事業の推進

(11) 環境マネジメントシステムの推進による公共施設の省エネルギー化

- (委員) 山崎浄水場小水力発電施設の発電量はkWhで実績値はkWとなっており分かりにくい。
- (委員長) それがコメントの2点目に書かれている。
- (事務局) 発電容量となると、天候等に左右されるのでkWを目標としているのだと思う。
- (副委員長) 発電容量に関する記載がわかりにくく理解しにくいということをコメントに書いてはどうか。
- (委員長) 実績値が目標値を上回っていることは評価できるが、単位がわかりにくく評価しにくい。上の表は修正せず、コメントに「発電容量の捉え方等が専門的でわかりにくいので、一般市民でもわかりやすい表現に工夫すべきである。」としてはどうか。

(12) ごみ半減プランの推進

- (副委員長) コメントの語尾を「…無理があるのではないかと指摘があった。」「…見直すべきである。」「市民の協力が不可欠な問題である。」に修正してはどうか。
- (委員長) 「…無理があると考えられる。…見直すかすべきである。」とする。
- (委員) 何の目標設定なのかが分からないので書くべき。
- (委員長) 「ごみ半減プランの目標設定に無理があると考えられる。現在の…見直すかを検討すべきである。」とする。2点目についても、「ごみの減量については、市民の協力が不可欠な問題である。」とする。

Ⅲ 自立した自治体への変革

1 財政規律を確保するための財政指標の目標値の設定

(13) 財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理

- (各委員) 意見なし

2 財政確保の取組

(14) 中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資

- (副委員長) 1点目を「…すべき。」を「…すべきである。」に修正する。
- (委員長) 2点目についても「…もっと広告などで宣伝を充実すべきである。」とする。
- (委員) 1点目について主語がないように思う。「定住促進のための子育て施策の充実は、総合的な子育て支援…」としてはどうか。
- (委員長) そのように修正する。

(15) 市税の収納対策の推進

- (各委員) 意見なし

(16) 行政需要を踏まえた職員数の適正管理

- (委員) 正規職員を減らして臨時職員を増やしていることについても議論があった。その点に

についてもコメントに書いてほしい。

(委員) 庁舎内だけでなく、保育園についても臨時職員が多いと聞いた。

(副委員長) 正規職員を減らすことは大切だが、一定数を確保してでも、きちんと仕事ができる体制は整えておくべき。

(委員) どこまで委託するかの線引きは決めておかないといけないと思う。

(委員長) 今話に出ているのは、正規職員数の管理だけでなく、臨時職員など全体の数も管理すべきという点と、正規職員が減ることにより行政運営の体制が維持できるのかという点。後者の点だけが問題だと考えるのであれば今書かれているコメントを充実すれば良い。

(委員) 非正規職員には、再任用職員や選挙のときだけ働いてもらう職員等もいる。そういった人材を活用するといった意味で非正規職員を採用することは良いと思う。しかし、正規職員として働きたいのに非正規で雇われているとなると問題である。ここの議論とは関係ないが、行政の責任としてはどうかと思う。

(委員長) 「…達成されているが、非正規職員数や委託等は増加している。それに伴い、技術やノウハウの…」とする。

(17) 人件費の抑制と能力・実績を重視した給与制度の構築

(各委員) 意見なし

4 適正な人事管理と職員の能力向上

(18) 能力と意欲に応じた柔軟な任用制度の構築

(各委員) 意見なし

(19) 人事評価制度の効果的な運用

(各委員) 意見なし

(20) 職員の資質向上・能力開発の推進

(委員) “適切”より“積極的”の方が良いのでは？研修先が減っているという話があったので。

(委員長) 「…継続して、より積極的に…」と修正する。

5 機能的で分かりやすい組織・機構の構築

(21) 重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営

(委員長) 語尾を「…必要である。」「…活用していくべきである。」に修正する。

(委員長) 全体を通して何か意見はあるか。

(委員) 黒丸で項目を分けているのが、2行目以降を右に1文字ずつずらしてほしい。

おわりに

(委員長) 2段落目の最後に“。”がない。私個人の意見としては、もう少しいろんな議論をした

いと思っている。項目があると、どうしても議論が項目の内容に制限されてしまう。各委員それぞれ様々な意見を持っていると思うので、それらを持ち寄り自由度の高い議論ができる場があっても良いと思う。そういったことを「おわりに」に盛り込んでほしい。

(委員) 今後の委員会の予定はどうなっているのか。

(事務局) 次回、修正した報告書を確認していただいて、今年度の委員会は終わりの予定である。

(委員長) 行革大綱及び行動計画は 28 年度が最終年度となっているので、この経験を踏まえて今後どうしていくのか。やめてしまうのか、同じようなものをつくるのか、バージョンアップするのか。私はバージョンアップする仕組みを考えた方が良いと思っている。そういったことも記載してほしい。

(委員) 事務局から提案いただく問題を議論できたのはとても良い機会になった。議会と市役所、議会と市民はルートがあるが市民と市役所のルートがない。市役所の課題や問題点を市民が議論できる場があればとても画期的だと思う。

(委員) 私ははじめこの委員会は、もっとフランクに一般的な意見を言える場だと思っていた。

(委員) 委員会は市に複数存在している。その委員会ごとに議論する内容が特化している。市民の意見となると様々な委員会をまたがるような話が多いので、この委員会だけで議論しても仕方がないということにもなる。ある程度議論すべき内容を限定しておかないとまとまりのない会議になってしまう。フランクに意見を言い合う場が必要なら別途そういった場を設けた方が良いと思う。

(委員長) 枠にとらわれずに議論をしたいというのは率直な意見だと思う。好き放題に発言してくださいとなるとぐちゃぐちゃになってしまうので、何らかの枠は必要だと思う。しかし、今のやり方は実務的なところがあるので、これで良いのかなという問題意識はある。次回、報告書の修正版を確認するとともに、この委員会の今後のあり方等についても議論してはどうか。

(事務局) 委員会からいただいた意見をすべて反映できるかは分からないが、市の政策の中で気になる点があるので議論すべきではないかといった意見をもらえるのは貴重だと考えている。

(委員) 2 段落目 2 行目に「最終的に」という文言がある。この文言を入れるのであれば過年度からの推移についても記載すべき。また、「これまでの継続した取組について…」の文章について、事実に関する記述と評価に関する記述を分けると分かりやすくなると思う。

(委員長) 「最終的に」は削除する。その他の文章については委員長と事務局とで相談して修正案を作成する。

3 閉会